

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と好酸球増多症候群における胸部・副鼻腔画像所見の特徴に関する検討		
1. 研究の目的と方法	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）と好酸球増多症候群（HES）は、いずれも血液中の「好酸球」という白血球が増加し、肺や副鼻腔などに異常を起こす病気です。両者は症状が似ており、診断が難しい場合があります。 本研究では、MPO-ANCA という抗体が陰性の EGPA と HES の患者さんを対象に、通常の診療ですでに撮影された胸部 CT および副鼻腔 CT 画像を用いて、肺、気管支、副鼻腔にみられる異常の特徴や頻度を比較します。これにより、両疾患の画像上の違いを明らかにし、今後の診断に役立つ情報を得ることを目的とします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2031 年 7 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2012 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、東京慈恵会医科大学附属第三病院（現：東京慈恵会医科大学西部医療センター）に入院し、詳しい検査の結果、MPO-ANCA という抗体が陰性の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、または好酸球増多症候群と診断された 18 歳以上の方を対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、喘息を発症した年齢、身長・体重から算出した体格の指標（BMI）、アレルギー性鼻炎・慢性副鼻腔炎の有無、評価前 1 年間の全身性ステロイド薬の短期使用回数、経口ステロイド薬の継続使用の有無、呼吸機能検査、血液検査、治療薬、胸部 CT および副鼻腔 CT の画像所見	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学西部医療センター 呼吸器内科
		氏名	劉 楷
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学西部医療センター 院長 平本 淳	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	情報の利用開始予定日：2026 年 9 月末日以降
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 西部医療センター 研究責任者：助教 劉 楷（りゅう かい） 電話番号：03-3480-1151（内線 3897） 対応時間：平日 09：00～16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。